



## アメリカ政治の韓国化

アメリカの大統領選は主要メディアがバイデン勝利と報道したことで次期大統領バイデンということになり菅総理をはじめ主要国の首脳はバイデンに祝意のメッセージを表明している。しかしトランプと共和党は、選挙に不正がありとして選挙結果を認めず接戦州の票の数え直しを要求、裁判に持ち込んでいる。その結果先ずジョージア州が再点検となった。

正式な次期大統領は2021年1月6日各州から提出される選挙人大統領選出証書に基づく上下両院合同委員会で決まるが、接戦州の共和党派の選挙人は、選挙結果は民主党の不正によるものとしてトランプ選出証書を送る準備をしている。

そうなれば対抗して民主党派の選挙人はバイデン選出証書を送るから一州から二重の選出証書が送られることになる。こうした事態が接戦州全部に及ぶと両院合同会議は結論が出せなくなり、米国憲法第12条の決まりにより上院議長裁決になるから当然議長であるペンス副大統領はトランプを正式大統領に指名する。

だから習近平やプーチンはバイデン宛の祝電を保留している。

2000年のブッシュ(共和党)とゴア(民主党)選挙戦ではフロリダ州が決戦場となり、デントン郡での投票箱すり替えや有権者の不正選挙権剥奪など数々の不正に対しゴアは確固たる不正証拠、証人等により訴訟した為票の再点検になったが、突如連邦最高裁が票の点検の差し止めを命令、結果ブッシュ勝利に終わった。

不正選挙でブッシュが選ばれたのは、選挙前の1998年ケニアとタンザニア米大使館同時爆破事件以来9/11が計画され、テロとの戦いという名の中東戦争で長引く平和で衰退の一途であった軍事産業を復活させる為であり、軍事産業から共和党へ合法かつ連続的に膨大な政治資金が流れることになっていた。連邦最高裁の命令に従ってゴアが訴訟取り下げを行ったのは共和党と民主党の政治資金配分の談合が成立したからである。アメリカの選挙は常に不正選挙に決まっています、不正によって勝つ方と負ける方が談合して利益配分をしてきた歴史がある。

二大政党政治とは不正選挙を前提とした利益談合型政治制度である。(詳しくは「小冊子」Vol.119「民主主義の裏表」をご参照下さい)

共和党院内総務マコーネル、グラハム上院司法委員長、クルーズ上院議員など共和党の主流派大物リーダーたちはトランプが今回の選挙を民主党の不正とする訴訟への展開を支持し、バイデンからの政権移転交渉(談合)に全く応じていない。

これでは嘘と騙しの不正に立脚したアメリカ政治の伝統が崩れる。一つ嘘がばれると芋ずる式にどんどん過去の嘘までばれて行くのが決まり。だからアメリカは嘘と騙しの連鎖で政治崩壊を防いできたのである。「政治のしきたり」に従って韓国政治も嘘と騙しに立脚しているが伝統的に敵味方の談合がないので必ず前大統領は投獄されることになっている。トランプ捨て身の戦いは、バイデンが勝てば不正所得隠しや詐欺で投獄されるからである。万トランプが勝てばバイデン親子は投獄されるからバイデンは必死で勝利の国際認識を急いでいる。(国際世論が信じれば解体業者による世界貿易センターの爆破の真実がアルカイダの仕業の嘘になる) アメリカ政治の韓国化はアメリカの政治史上なかったことだ。

超党派主義という二大政党談合時代は終わり、アメリカは権力への不信、金持ちへの怒り、人種間の憎しみ合い、、、等々混乱のつぼに陥るだろう。

これはトランプ本来の役目 Scrap(破壊)の重要な部分である。アメリカの混乱は新しい体制への産みの苦しみかも知れないが、、、新体制と言えどもどうせ真新しい嘘と騙しの体制でしかあり得ない。メソポタミア(紀元前3000年)まで嘘と騙しを辿ることは出来ないからだ。

しかし人類捨てたものではない、、、世界にはまだ日本人が存在している!

(「小冊子」Vol.119の「おわりに」をご参照下さい)